



ごみの有料化が始まる前に... ごみの出し方を直ぐに見直そう

平成27年、ごみ出しのルールが変わります
1月 ごみの分別区分を変更
4月 ごみの有料化がスタート

「ずっと先のこと」と思わないで！
今から始めよう。家計と自然にやさしいごみ処理



平成27年、ごみ出しのルールが大きく変わります。1月からはごみの分別区分を変更、4月からはごみの有料化が始まります。私たちが生活する上で、ごみを出さずに生活することはなかなか難しいことです。ですから、ごみのごみは市民の皆さんと市が一緒に考え、ともに行動していくことがとても大切です。

これまで市は、分別の徹底や資源ごみの回収など、ごみの減量についてお知らせしてきましたが、新しいごみ処理施設の完成を前に、今一度ごみの減量、分別、資源化について考えてみませんか。

市は現在、平成27年4月からの稼働を目指し、新しいごみ処理施設の建設を進めています。これまでの焼却炉は、燃やせる種類と量が限られていましたが、焼却炉の処理能力を大幅に向上すること

で、燃やせるごみとして処理できるものを増やします。

しかし、ごみの分別区分の変更は、再利用や資源化を否定するものではありません。生ごみは自然にやさしい処理として各家庭での堆肥化に取り組んでいただいたり、プラスチック製容器包装や紙類等は資源として再利用したりすることが、循環型社会を形成し、自然にやさしいごみ処理につながります。

ごみが有料化されると、市民1人あたり、年間で約2千円の負担増になると見込んでいます。

そこで、家計の負担を少しでも減らすため、ごみの減量はもちろん、ごみの中に混入している資源として再利用できるものを徹底的に分別するなど、すでに取り組んでいる方も、そうでない方も、今一度ごみの出し方について考えてみましょう。

ポイントは次のページから

「できることから始めよう」

ごみの減量に取り組み、正しい分別を身につけ、家計と自然にやさしいごみ処理を実践しましょう。

ごみを減量しよう

買い物で、ビニール袋をもらわないことや詰め替えできる商品を選ぶことなどで、ごみを減量できます。また、生ごみの水分をしっかりと切るだけでも約10%の減量になります。

分別を徹底しよう

しっかりと分別することは、ごみの減量につながります。ごみに混入している、プラスチック製容器包装や紙類などの資源ごみは、有料化以降も現在と変わらず無料で出すことができます。

資源回収にご協力を

地域のリサイクルステーションや集団資源回収地域ごとに回収品目が異なります。市が行う巡回資源回収、市内15箇所に設置している拠点回収など、資源ごみを様々な手段で回収しています。中でも、地域の集団資源回収は、

古新聞マイバッグ作成講座

日時 6月18日(水) 午後1時～2時30分
会場 クリーンエコ(3西4)
定員 10名(申込順)
持ち物 はさみ、液状のり
申込・問合せ先 前日までに、クリーンエコへ ☎31局1153

参加無料

資源回収にご協力 ありがとうございます

リサイクルステーションやごみステーションでの分別、巡回資源回収、拠点回収等により集めた資源の一部は売却しています。

平成25年度に売却した資源は、1,283トン、約3,600万円になりました。このお金は全額、資源回収やごみ処理、ごみ収集の経費として活用しています。引き続き、市民の皆さんのご理解とご協力をお願いします。

巡回資源回収にご協力を

今後の資源回収の拠点や回収品目の参考とするため、各地域を巡回しての資源回収を行っています。のぼりを目印にお越しください。

回収品目 びん、缶、ペットボトル、小型家電、蛍光灯、乾電池、古布、割りばし、廃食用油、古新聞、古雑誌、ダンボール、紙パック、生ごみ堆肥

事業所のごみは受け取りません。

日程 6月14日(土)

回収時間	回収場所	住所
午前10時～正午	イオン岩見沢店駐車場	大和4-8
	コープさっぽろ岩見沢東店駐車場	5東12
	コープさっぽろ岩見沢南店駐車場	美園6-8
	ひばり町内会館	上幌向北1-1
午後2時～4時	JAいわみざわ栗沢支所駐車場	栗沢町本町163
	JAいわみざわ岩見沢支所駐車場	桜木1-1
	北村環境改善センター駐車場	北村赤川595
	美流渡交通センター駐車場	栗沢町美流渡本町50

問合せ 市廃棄物対策課

対象品目を拡大

集団資源回収奨励金交付制度

市は、資源回収を行う町会(自治会)等に、回収量に応じた奨励金を交付しています。

4月から、新たに対象となる品目を拡大しましたので、ごみの資源化により一層のご協力をお願いします。なお申請方法など、詳しくはお問い合わせください。

対象品目 新聞、雑誌、段ボール、紙パック、アルミ缶、一升びん、ビールびん

新たに対象となった品目の出し方

- アルミ缶(アルミ缶、アルミ製缶詰のふた) → すすいで出してください
- 一升びん(茶色・緑色の酒びん) → キャップをはずし、すすいで出してください
- ビールびん(ただし、地ビールと輸入品は対象外) → すすいで出してください

問合せ 市廃棄物対策課

たくさんの資源を回収できました

平成25年4月から平成26年3月までの期間中、188の団体の協力で2,903トンの資源を回収することができ、奨励金として570万5,000円を交付しました。引き続き、市民の皆さんのご理解とご協力をお願いします。

いわみざわ環境週間

7月1日(火)~7日(日)

環境フェスタ2014 in であえーる

日時 7月5日(土) 午前10時~午後2時30分
 場所 であえーる岩見沢地下1階(4西3)
 内容 ▶リサイクルマーケット
 ▶家具や自転車等の大型リサイクル品の販売
 ▶ごみ減量や環境についての各種展示
 ▶生ごみ減量化コーナー
 ▶花苗無料配布
 ▶クイズラリー
 問合せ 市廃棄物対策課



リサイクルマーケット 出店者募集

出店料 1区画(5.7㎡) 500円
 募集数 50区画(申込順。ただし、市民優先)
 申込・問合せ先 6月16日(月)から27日(金)までに、電話または直接、市廃棄物対策課へ

環境フェスタ講演会

日時 7月5日(土) 午後3時~4時30分
 会場 であえーる岩見沢3階(4西3)
 演題 ごみ有料化とさらなるごみ減量化に向けて
 講師 山谷修作さん(東洋大学経済学部教授)
 問合せ 市廃棄物対策課

環境美化活動にご協力を

まちなか環境美化活動

一緒にまちなかのごみ拾いをしませんか。火ばさみと軍手はお貸ししますので、気軽にご参加ください。
 日時 7月7日(月) 正午~午後1時
 集合場所 ぷらっとパーク(4西2)
 清掃場所 中央通から駅前通の1条から4条間の歩道
 問合せ 市環境保全課

7月7日は環境美化の日 活動団体募集

まちをきれいにするために、いわみざわ環境週間に合わせて、地域のごみ拾いや植樹、植栽などの取り組みを行う地域や団体、事業所を募集します。
 対象期間 6月23日(月)~7月21日(祝)
 申込・問合せ先 7月7日(月)までに、市環境保全課へ

市は、循環型社会の形成や地球温暖化防止などについて、市民の皆さん一人ひとりの意識を高めてもらうため、7月1日から7日までのいわみざわ環境週間としています。
 期間中に開催される様々なイベントを楽しみながら、環境についての理解を一層深めましょう。

クリーンエコ 環境展

期間 7月1日(火)~7日(日)
 会場 クリーンエコ(3西4)
 内容 ごみ減量や環境についての各種展示
 期間中、先着順で花苗を無料配布。
 問合せ 市廃棄物対策課

環境施設見学会 参加者募集

日時 7月4日(金) 午後1時30分~3時30分
 集合場所 市役所本庁ロビー
 内容 リサイクルセンター(資源分別) (株)北海道LIXIL製作所(小型太陽光・風力発電機) 栗沢ラインガルトン(生ごみ堆肥)をバスで回ります
 定員 40人(申込順)
 参加料 無料
 申込・問合せ先 7月1日(火)までに、住所、氏名、年齢、職業、電話番号をファックスまたはEメールで市環境保全課へ
 ☎23局9977
 ✉energy@i-hamanasu.jp

生ごみの堆肥化に挑戦

生ごみは、ごみの3割以上を占めています。
 新しいごみ処理施設では、焼却処理をするので埋め立て量は減りますが、ごみを出す際は有料のごみにな

次の15か所で、資源ごみの拠点回収を行っています
 回収場所 市役所本庁、北村・栗沢両支所、幌向・美流渡両サービスセンター、朝日サービスセンターおよび朝日地区リサイクルステーション、生涯学習センター、いわなび、広域総合福祉センター、まなみーる市民会館、高齢者福祉センター、スポーツセンター、総合体育館、北村温泉施設、であえーる岩見沢、クリーンエコ
 回収品目 小型家電、蛍光灯、乾電池、綿50%以上の古布、紙パック、割りばし
 クリーンエコでは、このほかにも、びん・缶・ペットボトルなど、全16種類を回収。

実施している団体に対し、市が奨励金を交付しており、一人ひとりの取り組みが地域の収入につながっています。

大型ごみは早めに処分を

大型ごみの処分は、降雪前や有料化の直前に混み合うことが予想されます。大型ごみの戸別収集は、年に2回まで申し込むことができませんので、早めに家の中や物置を整理し、不要なものを処分しましょう。
 市は、生ごみ堆肥化のための機器や容器に対する、購入助成や機器の貸し出しなどを行っています。
 始めるにあたっては色々とお心配な点もあると思いますが、まずは、お気軽にご相談ください。

大型ごみは事前申込による戸別収集です

申し込みできる回数(1戸あたり)	上半期(4月~9月) 下半期(10月~3月)各1回
1回に申し込みできる大型ごみの数	10点まで
申込・問合せ先	大型ごみ受付センター ☎31局0053

※排出方法は、申込時にご確認ください。

新しいごみ処理施設の愛称募集

平成27年4月に供用開始する新しいごみ処理施設が、市民の皆さんにより親しまれ、愛される施設となるよう、愛称を募集します。
 応募期間 6月1日(日)~20日(金)
 応募方法 任意の様式に、愛称とその由来、愛称への思いと住所、氏名(ふりがな)、年齢、電話番号を記入し、持参または郵送、ファックス、Eメールで
 注意事項 愛称は、応募者が創作した未発表のものに限ります。また、愛称の著作権は市に帰属します
 選考方法 愛称選考委員会で厳正な審査の上決定します
 結果は後日発表し、採用された方には記念品を贈呈します。
 応募・問合せ先 ☎068-8686 岩見沢市鳩が丘1丁目1番1号
 岩見沢市環境部新処分場建設室
 ☎23局9977 ✉sinsyo-i@i-hamanasu.jp

どんな施設ができるの?

新しいごみ処理施設は、1日100tのごみを燃やせる焼却施設と資源再利用を推進するリサイクル施設からなっています。
 焼却施設は、生ごみなど、これまで埋め立てていたものを焼却でき、また、焼却時の熱で発電し施設の電力をまかなうなど、衛生面と環境に配慮しました。
 リサイクル施設は、プラスチック製容器包装やびん・缶・ペットボトルなど資源のリサイクルのほか、燃やせないごみや大型ごみを細かく砕き、資源物の回収や燃やせる部分の再分別をします。



完成予想図

ごみの分別辞典と分別カレンダーを全戸配布します。
 説明会には、ぜひ参加し、ごみ処理への理解を深めましょう。なお、説明会の開催日程等は、広報やホームページ等で随時お知らせします。
 問合せ 市廃棄物対策課